

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 5 月 7 日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4691200390号
法人名	社会福祉法人 霧島会
事業所名	グループホーム うさぎ
所在地	鹿児島県霧島市霧島田口193番地1 (電話) 0995-57-3031
自己評価作成日	平成25年4月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年4月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成24年6月に開設し、職員と利用者となれない環境の中で様々な困難に直面し、共に迷い、共に笑い、共に支えあいながら、信頼関係を築いてきました。現在、入居者9名中8名はホーム近隣に自宅があり、住み慣れた地域で安心して生活されています。日常的に近隣ドライブに出かけ、長年慣れ親しんだ豊かな自然の季節の移り変わりを肌で感じていただく支援は職員と利用者共通の楽しみになっています。ホーム内には気持ち良く生活していただく為に八角形の中庭を設け、ウッドの円席で日向ぼっこをしたり、気分転換に外の空気に触れたり出来るようになっていました。また、中庭に面した日当たりのいい廊下にはテーブルとイスを置き、独りの時間を楽しんでいただけるように工夫しています。日課としては少しきつくても毎日楽しみながら歩行運動ができるようにテンポの良い曲を流して意欲を引き出しています。同法人内には地域包括支援センター支所、居宅介護支援事業所、特別養護老人ホーム、認知症対応型デイサービス等の事業所があり、地域の介護相談窓口として連携を図っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

霧島の麓、自然環境に恵まれた地に建てられているグループホームである。法人は母体である特別養護老人ホームの他にも居宅介護支援事業所・ディサービス・訪問介護事業所・軽費老人ホーム等を運営して長年、高齢者福祉に携わってきている。開設して間もないこともあり、元気で自立している利用者が多く、現状を維持できるような自立支援に努め、更なる生活レベルの向上に向けて日々取り組んでいる。事業所として職員育成も大きな課題として捉え、職員は勉強と業務に追われる日常ではあるが、利用者との密な関わりに努め、歌や笑い声が聞かれる明るく活気のある雰囲気作りに努めている。運営については近隣の地域密着型サービス事業所が合同で行った運営推進会議に参加してネットワーク作りや勉強会、他事業所の訪問などでサービスの質を向上させていく取り組みをしている。自己評価も真摯に取り組んでおり、事業所のこれからの課題もしっかりと見極め、改善に向けて前向きな姿勢が伺われた。更に地域に開かれた事業所として今後もさまざまな取り組みが期待できるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人共通の理念「目配り、気配り、心配り、笑顔の挨拶」を実践し、利用者様の思いと向き合い共有することに努めています。	法人全体の理念「目配り・気配り・心配り・笑顔の挨拶」をグループホームも理念としており、全職員に介護の原点として理念の統一を図っている。理念は日々の申し送り時に確認する機会を設けて理念の共有と実践に繋げている。また、パンフレットにも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	平成24年度の霧島市による監査指摘事項にもあるように地域との交流はこれからの課題です。	地元中学生の職場体験学習の受け入れや校区の小学校・幼稚園との交流が行われている。また、地域公民館で開かれる読書会などへも出かけている。開設初年度で、地域交流はこれからの課題であり、自治会加入なども検討している。	地域密着型サービスとして事業所自体が地域の一員として地域に受け入れられることが災害時の協力や利用者の社会生活の継続における地域の理解にも繋がるため、地域貢献も含め、今後の取り組みに期待したい。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域との交流を含め地域貢献もこれからの課題です。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の運営推進会議にて行政、消防署、警察、自治会等の方々に参加していただき活動内容の報告及び事前に課題を設定し意見を聞き事業所運営に取り組んでおります。	自治会長・民生委員・老人クラブ・家族代表・消防・駐在所・地域包括支援センター職員・行政等、幅広い分野の参加者を得て2ヶ月に1回開催している。ホームより活動報告・状況報告を行い、ホームの課題について参加者から助言をもらうなどして運営に活かされた話し合いがなされている。今年度、近隣の地域密着型サービス事業所と合同で運営推進会議を行い、共にサービス向上に活かせるように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所運営について不明な点があった場合は早急に市町村担当者へ問い合わせを行うなど連絡をとりあっています。	日頃より相談等で連携を図り協力関係を築いている。また、定期的に運営推進会議を通じてホームの実情を伝え、問題点なども話し合っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	おおむね3ヵ月に1回身体拘束廃止委員会を開催し基本的なことについては周知しております。平成24年6月に新規開設した施設のため職員も介護未経験者が多く、外部研修や勉強会等への参加して取り組みを強化していきます。	運営規定・重要事項説明書に身体拘束について明記されており、法人の方針として身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。また、身体拘束廃止委員会を中心として定期的に勉強会を行い、職員に周知している。日中は玄関の施錠はせずに職員間の連携と見守りで安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については基本的な理解はあり、職員の倫理感を信頼し学ぶ機会を持っていませんでした。今後は、虐待防止について学ぶ機会を設け虐待が見過ごされることがないように徹底していきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	支援する機会をもてず。理解不足。今後学ぶ機会を持てるようにしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明時に1時間ほどかけて丁寧に説明し疑問や不安な点を聞き出すように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に近況報告を行い、その際、要望等がないか引き出すように努めています。また、家族の要望等は連絡ノートに残し職員間で情報共有に努めています。	重要事項説明書に行政窓口と法人の窓口も明記して家族がホーム以外でも意見・要望を表せる機会を設けている。また、日常の面会時や電話連絡時に意見・要望を聞き出すように努めているが、なかなか家族から要望などを聞かせてもらえないのが現状である。	開設して間もないこともあり、気軽に意見・要望を表してもらえるような関係には至っていない。また、職員紹介、ホームの取り組み内容、利用者の様子などを報告するような様式がないこともあり、遠方の家族とは話す機会が限られている。今後、新しい入居者が増えることもあり、職員と家族との信頼関係の構築はこれからの課題である。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案は、朝の申し送りにて聞く機会を設けている。そこで出た意見や提案の決定事項は各職員に周知し業務に反映している。	現在、職員会議の設置がなく、朝の申し送り時を職員からの意見・提案を聞く機会としている。内容については、情報共有ノートにて共有を図っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の家庭の事情や勤務状況を把握し、勤務時間、職場環境、条件の整備に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>同法人内にある特別養護老人ホームにて開催される勉強会や外部研修への参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在は未実施です。</p> <p>自分の勤務している施設のサービスの質を認識する上で、重要な活動の一つであると考えており早期に取り組んでいきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の人となりをまず肌で感じる為、会話を楽しみながら自己紹介をし、話の流れで不安や要望を引き出し丁寧に傾聴するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困りごとを話される方は傾聴することに努め、「お任せします」等遠慮がちな方にはこちらから質問し話しやすい雰囲気作りに努めています。また、重要事項説明時に丁寧に説明し質問がないか確認もするようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族がグループホームでの生活を受け入れて頂けるように支援することが初期では必要とされる。他のサービス利用を含めた支援まではできず、今後の課題です。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は親しみも持って接し、本人と良好な関係であるが、本人より感謝される立場になることが多く、共に過ごし支えあう関係づくりとは言えない。今後の課題として共に過ごし支え合う関係作りに努めます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の事情も含め本人と家族の思いを尊重しながら、良好な関係を保てるように努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人、知人等の面会時はいつでも来ていただけるようお声掛けをしたり、町内のスーパーや以前利用されていた法人内のデイサービスに遊びに出かけたり、繋がりを保つように努めている。</p>	<p>家族の協力ももらいながら馴染みの人や場との関係が途切れないように支援している。隣接するデイサービス利用の友人・知人との交流もある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>相性を把握し、テーブル配置等配慮しています。また、職員は特別扱いすることがないように利用者全員平等に接し、利用者同士で僻みを持たないように努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院や退去後の支援は経過を把握し必要であれば、相談や支援を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや意向は傾聴し、可能な事は応えるように努めています。また、思いや意向が不明な方に関しては表情や生活歴等より、推測するように努めている。	家族や関係者からの情報、日常の会話や表情・言動などから本人本位に検討して思いや意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族等から今までの暮らしぶり教えて頂いたり、グループワークで回想法を実施し、より詳しい生活歴を把握するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日のおおまかな日課を中心にその日の体調や気分を伺いながら本人のペースに合わせて過ごしていただいています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要な関係者の意向やアイデアは反映されやすいが、家族や本人の意向があいまいで引き出せていない方もいます。今後、モニタリングを丁寧に行い、本人や家族の思いも引き出せるように努めていきます。	本人・家族の暮らし方の希望や意見を聞いて個々に応じた介護計画を作成している。状態変化時は随時計画の見直しを行い、変化がなくても定期的(6カ月)に見直しを行って現状に即した介護計画を作成している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎朝、利用者の様子や変化は申し送りを行い職員間での情報の共有に努めています。又、個別の記録は詳細に残すように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別のニーズに対しては可能な限り対応するように努めています。また、季節や天候に合わせた楽しみを提供できるように努めています。多機能なサービスとまでは言えず今後今以上に柔軟な対応に努めていきます。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	家族や職員、必要な関係者のみの支援に留まっているので今後は本人が豊かな暮らしを楽しむことができるように地域資源の活用に向けて努めていきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医より往診医に変更される利用者がほとんどで、往診医とはスムーズに連携をがとれ適切な医療を行えています。他のかかりつけ医の方は家族にここでの状態を報告し 受信時にかかりつけ医に報告して頂きます。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。往診医以外の受診については基本的に家族同行としているが、本人・家族の状況に応じてホームからも柔軟に受診同行を行っている。協力医療機関とは緊急時対応等で24時間連携が図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師は配置しておらず、かかりつけ医に相談している。また、隣接のデイサービスの看護師に状態の確認をお願いすることもあります。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は情報交換や今後の相談に努めています。また、連携には努めていますが意識して病院関係者との関係づくりまでは行っていません。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時の説明の段階で医療が常時必要な状態になられたら、ここでの生活を継続していくのは困難な為、退去となりうることを了解していただいています。また、退去時は今後の受け入れ先の相談や支援を行うことまで話をしています。</p>	<p>重度化や終末期についてはホームの方針を入居時に口頭で説明している。入居後は利用者の状態変化に伴って主治医の判断のもと、家族と方向性を話し合い、ホームでできる最大限の支援に取り組む方針である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時事故発生時の初期対応マニュアルは掲示してありますが、訓練は定期的に行っていません。実践力を身につけている人が少ないのが現状。今後はすべての職員に実践力が身につくように定期的な訓練を実施していきます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>同法人内と消防との協力体制のみ築けている状態。また、地震、水害の避難方法は想定しておらず、地域との協力体制を含め避難方法を確立していきま</p> <p>す。</p>	<p>年2回消防署立ち会いの避難訓練と自主訓練を昼夜間想定で行っている。近隣との協力体制はこれからであるが、地域に居住している法人職員の協力体制は築かれている。自動通報システムとスプリンクラーは設置されており、備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親しい関係性により馴れ合いが許され、お声掛けや対応が目上の人として尊重されていないと感じる場面があります。	馴れ合いのことば使いなど特に注意して、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。日常の業務でも気づいたら都度注意し合い、職員の資質向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お声掛けを積極的に行い、思いや希望を引き出したり、入浴やグループワーク、外出等時には本人に意向を確認するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望を訴えられる利用者には可能な限り対応しています。また、日課を強制せず、本人の意向を確認するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣装ケースにタオルや下着等分類名をはり、取りやすいように支援している。また、職員が衣類を準備するときはその日の気候やその人の好みまで配慮して準備しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者にメニューを相談して、旬の食べ物をお出ししたり楽しんでいただくように努めています。まれに材料切りや味付けなどお願いすることがありますが、ほぼ職員が調理します。片付けは下膳や台拭きをされています。	利用者の力量に応じて調理や片づけなど手伝ってもらっている。弁当持参での季節の花見や遠足を兼ねた外食に出かけて外での食事を楽しんでいる。また、行事の際の食事や、時には気分を変えて中庭を利用してお茶や食事をするなど「食」を楽しんでもらえるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や水分量は記録に残し、脱水や食欲不振等時に気付けるように努めている。また、体重の増減も食事内容の見直し際考慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後実施されています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意があいまいな方のみ排泄パターンを把握しトイレ誘導を実施しています。また、トイレの場所が分からない方は排泄のサイン時トイレ誘導を行えています。	現在、自立している利用者が多く、維持できるように支援している。また、入居時に紙パンツ使用だった利用者也職員の声かけや誘導により改善に至っている。ホームの方針により、身体状況に問題がない限りおむつとポータブルトイレは使用しない支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤で調整する前に野菜をたっぷりとっていただいたり、運動量を増やしたり、工夫しています。また、朝の牛乳にきな粉おさじ1入れ便秘予防に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は希望がない限り週に3回。日にちはおおむね2日に1回入浴できるようにこちらから提案し、時間帯はその日に午前か午後の入浴希望を伺って支援しています。	基本は週3回を目安としているが利用者の希望や体調に合わせて時間帯や回数などは柔軟に支援している。自立している利用者もおり、職員の見守りで安全に入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転に注意しながら日中の入眠傾向時に短時間の休息は取っていただくように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病歴と内服はおおむね把握しています。薬の変更時は副作用を含め経過観察に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌が好きの方や外出が好きの方、体操が好きの方に合わせグループワークを行っていますが個別の役割や楽しみの支援は不足しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	可能な限り希望時に近隣への外出支援は行えているが、本人の希望よりも、職員から気分転換に外出のお声掛けする方が多い。また、本人と家族の希望で自宅で過ごしたり、親戚の集まりや、墓参り等に外出されたり機会を支援している。	日常的に散歩、ドライブ、買い物に出かけている。時には、弁当持参で季節の花見、遠足、初詣、関連施設でのイベント、地域公民館の催し物などにも出かけて外出を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理ができない方でお金の所持を希望される方には家族に紛失もありえることを理解していただき3000円程度所持していただいています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は希望時にかけて頂いています。年賀状や手紙のやり取りは希望時に対応します。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>中庭には季節の花を植え、居間には月行事の飾りや季節の植物を飾り楽しんでいただけるようにしています。</p>	<p>リビングから直接出入りできる中庭があるため明るく、開放感がある。食事のダイニングとテレビが置かれているリビングに分かれ、生活にメリハリができ、居心地良く過ごせるように配慮されている。台所もオープンで食事のにおいや準備の様子は生活感があり五感を刺激してくれる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル配置は相性を考えて指定席を設けています。また、中庭に面したところにテーブルとイスを置いて2名でくつろげる場所を設けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室の家具は使い慣れた物を持ちこまれたり、使いやすい物をそろえたり本人や家族と相談しながら配置しています。	使い慣れたものや馴染みの物品を持ってきてもらえるように促している。クローゼットが広く、整理整頓が行き届き、清潔感がある。居室から直接外に出入り出来るため明るく、開放感があり、お気に入りの飾り物や家族の写真などで居心地良く過ごせるように居室作りがなされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	可能な限りご自分で出来ることはやっただき、職員は見守りを行うようにしています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない